難病患者のコミュニケーションボランティア養成講座開催要領
（病院実習）

1　目　的

重症の難病患者・家族が安心して地域で療養生活が送れるように取り組みを進めているところであるが、その中でも意思疎通が図りにくい方への支援が必要とされている。

介護者の休養のため患者が一時的に入院（レスパイト入院）された際、患者・家族からは、入院中意思が伝えられない事による不安や不満があり、医療機関側からも、意思疎通の困難さが問題になっている。

そこで難病患者のコミュニケーションボランティアを養成し、難病患者が療養されている居宅に出向いて会話や趣味活動の支援を行なったり、必要に応じて難病患者が入院している病院に出向いてコミュニケーションの支援など行うことにより、患者や家族が安心して療養生活を継続できることを目的に、講座を開催する。

2　主　催

松江保健所・しまね難病相談支援センター

3　対象者

難病ボランティア養成研修受講者、大学生、専門学校生等
※講座受講後、コミュニケーションボランティアとして活動意欲のある方

4　日時・場所・内容

日時・場所	内容
【第１回】 9月29日(水) 9：30～15:00 国立病院機構 松江医療センター 訓練センター (病院敷地内　養護学校隣) 松江市上乃木町 5丁目8番31号 TEL：0852-21-6131	10：00～　講義「神経難病とコミュニケーションについて」 講師：国立病院機構松江医療センター　神経内科 リハビリテーション科医長　下山　良二氏 11：00～　講義「コミュニケーション方法と実際」 講師：国立病院機構松江医療センター 作業療法士　立石　葉子氏 12：30～　昼食 13：30～　報告「ボランティア経験者の立場から」 発表者：島根大学教育学部学生　辻　郁子氏 14：00～　報告「患者家族の立場から」 発表者：景山敬二氏ご夫妻 14：30～　今後の予定について 15：00　終了
【第２回】 11月～12月上旬 場所 松江医療センター 又は鹿島病院	患者さんとコミュニケーションの体験実習 ○オリエンテーション（5分） ○看護師等による患者さんとのコミュニケーション見学 松江医療センター（10分） 鹿島病院（約60分　入院患者さん3名） ○コミュニケーション体験（30分） 松江医療センター（見学した患者さんとのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ体験） 鹿島病院（レスパイト入院中の患者さんとのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ体験） ○反省会（10分） ※実習生２人と保健所保健師または難病相談専門員が同席 ※日程は病院と調整し決定